

孤立と貧困を 放置しない 地域をつくるために

～生活困窮者支援フォーラム～ ※入場無料

日時

2014年11月15日(土) 13:00～17:00

会場

盛岡市 勤労福祉会館 5階大ホール

〒020-0885 盛岡市紺屋町 2-9 ☎ 019-654-3480

7月に発表された国民生活基礎調査の結果によれば、2012年時点の日本の相対的貧困率は過去最悪の16.1%、子どもの貧困率は16.3%に達しました。日本人の6人に1人が貧困層に属し、OECD加盟国の中でも4番目に高い貧困率になっています。社会的孤立は貧困の深刻化を招くと言われていいます。2015年度から実施される「生活困窮者自立支援制度」と就労支援の先進事例を学ぶことで社会的孤立を防ぐ地域のあり方について考えます。この機会に皆さんも一緒に考えてみませんか？

〈パネラーの方々のご紹介〉

佐藤 博さん

◎厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課
生活困窮者自立支援室 地域支援対策専門官

櫛部 武俊さん

◎一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表

元釧路市ケースワーカー。2004年から釧路市で実施した生活保護者自立支援プログラムのモデル事業に関わり個人の自助努力に問題を転嫁させない仕組み、いわゆる「釧路方式」の作成に深く関わる。

吉田 直美さん

◎NPO 法人 暮らしのサポーターズ 副理事長

菊地 孝子さん

◎社会福祉法人 藤里町社会福祉協議会 事務局長

18～55歳の町民の8.74%が仕事に就けない状態で引きこもっていることを2010年から約半年間の訪問調査で判明。「ニーズは就労」という考え方の下、様々な仕事作りを展開している。

テーマ
Theme.1

生活困窮者自立支援制度の
めざすもの

テーマ
Theme.2

全員参加の地域づくり

～社会的孤立から共生をめざす取り組みとは～

〈主催〉一般社団法人 SAVE IWATE

(盛岡市内丸3-46 盛岡市役所内丸分庁舎1階 / 019-654-3523)

〈協力〉これからの暮らし仕事支援室 / いわてパノラマ福祉館 / ポランの広場 / もりおか若者サポートステーション / あすからの暮らし相談室・宮古 / ふうどばんく東北AGAIN

〈後援〉岩手県 / 盛岡市 / 岩手県社会福祉協議会 / 盛岡市社会福祉協議会 / 岩手日報社 / 朝日新聞盛岡総局 / 毎日新聞盛岡支局 / 読売新聞盛岡支局 / 河北新報社盛岡総局 / 盛岡タイムス社 / NHK盛岡放送局 / IBC岩手放送 / テレビ岩手 / 岩手朝日テレビ / めんこいテレビ / ラヂオもりおか